

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	◇加藤幸兵衛の経歴を紹介し、資料への興味・関心を高めるとともに、価値への方向付けを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・加藤幸兵衛氏は多治見市出身の陶芸家で、中国南宋で作られた青磁に魅せられ、この研究に打ち込んだことを確かめる。 ・略歴と作品の写真を掲示する。
展開	<p>◇資料提示をし、範読する。</p> <p>○5年間探し求めた土で焼いた皿を割った幸兵衛をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の納得のいく作品ができるまで妥協しない幸兵衛はすごいと思う。悔しい気持ちは分かるけど、自分だったらここまでできない。 ・まわりも認めてくれてるし、ここまで頑張ったのだから何も割らなくてもよいのと思う。自分だったら、認められたらうれしいし、これでいいかと思うから、なぜ幸兵衛がここまでするのか分からない。 ・いくらまわりからすごいと言われても、自分が納得いかなかったら、うれしさより悔しさの方が大きい。自分も同じようなことがあったから、皿を割る幸兵衛の行動はよく分かる。 <p>◎「うむ、これからじゃ。まだこれからじゃ。」と言いながら、84歳の幸兵衛をなお突き動かしたものは何でしょうか。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に妥協しない心だと思います。 ・自分が納得するまでこだわって探究し続けていく気持ちや態度だと思う。 ・ここまでできたから次はもっとこうしようと、さらに最高のものを生み出そうとする態度だと思う。 <p>(学級全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合で活躍した時、もっとヒットがたくさん打てるようになりたいと思い、フォームを見直したり、プロ野球を録画して選手のフォームを真似したことがある。考えて練習して打率が伸びたときは、さらにもっと打率を伸ばしたいというやる気がでた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の多様な考え方や感じ方に触れ、他者理解を深めるとともに幸兵衛が苦しい気持ちに気付くことができるよう、皿を割る行為に対してどう思うかを問うことで、自分と関わらせて発言できるようにする。 ・「まわりの者から見れば実に見事なできばえに見えるからよいのではないか。」という切り返しの発問によって生徒の心を揺さぶり、妥協せずに真理を探究する幸兵衛の生き方に目が向けられるようにする。 ・84歳の幸兵衛は、すでに見事な青磁の作品を作り出し、岐阜県重要無形文化財の指定、多治見市名誉市民の称号を与えられていたことを略歴から触れる。 ・真理を探究し続け、新しいものを生み出そうと努力し続ける生き方のすばらしさに気付くことができるようにする。 ・グループでの話し合い活動により一人一人の意見を交流した後、学級全体で話し合い、多様な考え方に触れることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】 ★今までの生活の中で、満足できるところまできているのに、さらによりよいものを目指したいという気持ちで取り組んだことはありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の意見から、自分の生活の中にもあることだと共感できるようにし、もう一度一人一人が自分自身を見つめる場とする。
展開後段	<p>○よりよいものをつくり上げようと新たな方法を求めて取り組むことを、今後の自分の生活の中でどのように生かせるか書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業で、幸兵衛の生き方や友達の意見を聞いて、まわりから認められてもさらに自分自身がより高いものを求めていく中で、よりよいものが生まれることを学びました。私は、ピアノ伴奏をしたとき、友達や先生に「上手いね。」と言われて喜んでいただけ、中学校の合唱祭では、みんなの合唱が向上するように、歌いやすい最高の伴奏を求め続けてみたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気付かせたい価値の視点から今後の自分を考え、実践への意欲を高める。
終末	◇本時の授業で自己を深く見つめていた姿を価値付け、教師の喜びでまとめる。	<p><変容の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問や興味が湧いたとき、自分が納得するまで探究し続けていきたい。」「探究し続けなければよりよいものは生まれないと気付いた。」など、真理の探究について、自分のこれからの生き方につなげている。